



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

●本日

「我が生い立ち」
長谷川哲哉・辻本哲也 会員

会員誕生日

10月3日 二ノ宮恵美子

結婚記念日

9月30日 遠藤 光一

9月30日 松田 宏幸

10月3日 越野 俊興

10月3日 渡部 英次

10月4日 対馬 建一

●次週予定

「頭の体操」例会

No. 2435

第12回 9月29日

出席報告

前例会

会員総数……………44名
出免会員……………6名
出免出席……………2名
出席会員……………26名
出席率……………70.00%

前々例会

第9回 9月1日

欠席会員……………10名
内メイクアップ……………0名
修正出席率……………82.93%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告 ……………

1. 本日の例会に、第1グループの実藤吉信がバナー補佐のご訪問をいただいております。大変お忙しい中を私どもの為に本年度2回目の公式訪問でお出でいただいております。大変有り難うございます。

本日も何卒ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2. 昨日の「交通安全旗の波作戦」にご参加をいただいた皆様、大変ご苦労さまでした。

私は所用が有り参加できませんでした。申し訳ありません。

3. 9月16日留萌ライオンズクラブのチャーター・ナイト51周年記念祝賀例会に出席をして参りました。

ライオンズクラブの例会に参加をさせてい

ただき、大変勉強になりました。



幹事報告 ……………

2510地区世界社会奉仕委員会より、タイ・ノンカイ地区への浄水器設置のためのWC S負担金として50,000円の請求が来ております。

米山財団事務所から、10月米山月間の資料を受領しております。次回の例会で資料を配布いたします。



委員会報告 ……………

例会運営委員会

田中会員

地区大会の登録料については、次週で締め切らせていただきます。次々週以降は幹事が徴収いたします。現時点で25名の出席の確認を取っ

ています。

愛好会

麻雀愛好会 齋藤(清)会員

第2回マージャン大会を9月29日午後6時30分より行います。出欠は今回と次回例会29日に確認を取らせていただきます。

3分間情報

「社会奉仕」 会員研修委員会

ロータリーの第3奉仕部門。地域社会に居住する人々の文化生活環境条件を向上させるために、思いやりや援助をロータリアン個人としてまた、多人数で行う奉仕活動を言う。したがって、クラブ・リーダーシッププランでは奉仕プロジェクト委員会に含まれる。

奉仕の機会として、クラブや地域の奉仕の機会には次のようなものがある。

- ※危機にさらされている子供たち
- ※障害者
- ※国際理解と親善
- ※環境保全
- ※ポリオ・プラス
- ※健康管理
- ※人口問題
- ※都市問題

これらの奉仕の機会は無限に存在するものである。

21世紀に入り、RIはロータリーに関係ある個人や組織団体を含め「ロータリー家族」の意識の元で共同の奉仕活動を推奨している。

【三二情報】

明日9月23日は秋分の日です。秋分の日は国民の祝日に規定されていますが、日にちは規定されていません。秋分の日は、太陽と地球の位置関係できまり、地球が太陽の公転軌道に対して23.4度傾いているため季節ができ、太陽の周りを365日と約6時間かけて1周するため日付がずれ、国立天文台が日にちを計算し、前年の2月1日に決定するそうです。



實藤ガバナー補佐

本年度、二ノ宮会長は「楽しい例会」をテーマに掲げております。今日伺ってみてユーモア溢れる中、和みの笑いがあったということは、これが留萌の50年の力なのか、財産なのかと思いましたが。実は、こういう立場に立ちまして各クラブの普段の例会におじゃましておりますが、今日普段着のままの留萌の例会に参加してみても一見は百聞に聞かずでございました。

自分の羽幌クラブのことを地区自慢はしてはいたのですが、留萌の会員の人は気づかないのかも知れませんが、回ってみてさすが留萌は違うな、重みがあるなと思えました。それは具体的に述べるものでなく肌で感じる素晴らしさを感じました。

今日はお礼とお願いに参りました。まずIMの100%の登録をいただきましたことに対し、お礼申し上げます。そして地区大会も10月16・17日にありますので、みなさまにご参加をお願い致します。

また、8月18日羽幌で行われましたガバナー公式訪問、合同例会にも全員参加をいただいたことに対し、お礼申し上げます。

また、8月18日羽幌で行われましたガバナー公式訪問、合同例会にも全員参加をいただいたことに対し、お礼申し上げます。

ニコニコBOX

- ・IM全員登録ありがとうございました

實藤ガバナー補佐

- ・昨日の「交通安全旗の波作戦」欠席しました 申し訳ありません 二ノ宮会員
- ・旗の波作戦参加できず大変心残りです これからもありますのでご了承下さい

森(俊)会員

- ・第45回スピードダウン旗の波運動に参加いただきありがとうございました 担当委員会の委員長として参加できずに失礼しました

森(幹)会員

- ・チョットよい事がありました 中出会員

前 回 333,000円
今 回 13,000円
累 計 346,000円

📖 プログラム・・・・・・・・

「温故知新」

留萌RC第30代会長 渡部 英次 会員



「温故知新」とは「ふるきを尋ねて新しきを知る」と読むそうです。紀元前450年ごろに中国・魯の国で活躍した儒者・孔子が「師となる条件としての言葉」

と論語に書かれている。「人の上に立つ人は、こうあらねばならない」ということ。

私たちのロータリー活動は絶えず世界の変動の中にある。今回テーマを決められたので世界、地域に分けて話を進めます。

まず、国際ロータリー発生時の世界の状況を挙げて見るといくつか大きな出来事があった。

ロータリー50年誌を見ると「20世紀の初頭の出来事は1902年ライト兄弟の飛行機、1905年のアインシュタインの相対性原理があり、それが1つ地球を小さい物としてしまった。飛行機の発達の第一歩であり、人類の第3の火と言われる原子力解放の端緒であることは誰も気が付いていない」と記載されています。その中でロータリーは芽生えた。

私の好きな作家に吉村昭という人がいる。私たちの仲間にも沢山の愛読者がいる。数年前に亡くなったが、江戸時代後半から大正時代の後半まで時代歴史小説を史実に忠実に多くの本を書いている。先月、おそらく最後の単行本と思われる「白い道」というタイトルの単行本を三省堂で買ってきて読んで、また新しい発見があった。皆さんご存じの乃木希典の旅順攻略、東郷平八郎のバルチック艦隊の殲滅など日露戦争に勝利し、その講和会議にあたった小村寿太郎全権大使とロシアのウイッテ全権大使との交渉が、当時のアメリカ大統領テオドール・ルー

ズベルトの斡旋でアメリカのポーツマスで行われた。時に明治37～38年（1904～05）このとき、ルーズベルトは、次のようなことを述懐しています。「明治維新後わずか40年足らずで世界の軍事大国ロシアを破った日本は恐ろしい国である。太平洋は広いがアメリカと日本が海を挟んだ隣国であることに変わりはなく、将来日本はアメリカの好敵手になるだろう」この予見は太平洋戦争によって立証され、現在でも経済問題などで敏感に反応しあうことから考えても、その予見は今もって生きていることがわかる。

ロータリー日本50年史などを見ると、この世界の激動の時期に1905年2月23日、ロータリーはシカゴのユニティ・ビルディングの16階の鉦山技師ガスタ・バス・ローアの事務所で弁護士ポールハリス他4名の間で芽生えた。当時、4人は互助会的な集まりを期待し、その後激動の時期を得て1920年頃世界的不況の時期に一時衰退したが、世界にその規模は拡大しつつある。

今世界的な景気の後退時期に、ロータリーの発生の基本にかえり、思考を重ねることも必要と考える。

留萌ロータリークラブは創立50年を迎える。先輩の限らない努力を考えると頭が下がる。しかし、一個人の努力には寿命という限界がある。多くの諸先輩の努力により継続している。

私は創立30年度の会長として、記録または記憶にある内容を振り返りたいと思う。

私は1972～73年で創立11年目の石川健二会長の時に入会した。

当時、留萌地区は限りなく発展するかにみえ留萌市の人口は4万2～3千人、管内15万人以上おり、管内各企業はバブルにあり、その経済状態の活力は限りなく続くかに見えた。私と同期に入会した会員は8人いた。当時の記録によると入会メンバー表の23番目、先輩に1970～71年入会の越野俊興会員、1971～72年入会の平井誠治会員がいる。同期で現在、入会している人はいない。生存している人は理容院の門脇則充君だけと思われる。

<入会時の記憶>

当時の記憶として少し記載する。私は1972年7月19日入会とある。会員は親睦が第一とされ、出席が重視された。まず、新入会員の教育から始まる。時間厳守、当時の労働会館の地下の一室で毎週行われた。週1回水曜日の午後6時30分開始。教育は親睦委員長丸二蕎麦代表取締役の阿部清晴親睦委員長である。入会1~2年の会員が出席したと思われる。時間厳守。遅刻常習犯は私と道銀支店長の中川一平会員、二人とも会場の和室の入り口に座り遅れたお詫びをした。当時私は40歳、阿部親睦委員長は電灯に会員名簿をかざし出席をとった。新入会員は恐ろしいので真面目に聞いた。会員の入会資格、会員相互の親睦、出席のことなど何回も言われた。彼の出席ノートを電球にかざしたのは、今考えると老眼だったのだと最近分った。威張ったのではない。私は以後の地域活動に於いて、同業者以外の職種の人々と知り合いが出来たのは大変有意義であったと思う。

<入会時の状況>

クラブフォーラム、炉辺会合が絶えず行われ、緊張して参加した。

入会直後、私の家が会場の一つに指定された。午後6時30分開始。私の家の居間はタバコの煙で濛々としたなかで継続された。基本的な内容が討議され。捻金会員、川合会員が激しく討論していた記憶がある。その他はあまり記憶がないが、討議後の親睦の酒が目的だった。

<ロータリー情報委員会

3分間情報の例会での開始>

まず活動を理解するには知識からと、1971~72年、第11代加地民一会長が開始。以後多くの知識を得て有意義であった。私も3年委員をし

て何冊かの本を読んだ。「ロータリーモザイク」その他は現在も継続されている。

各国でロータリークラブがあり、それを下から支えるのがR I とか。

<留萌ローターアクトクラブの創立>

1972~73年、私が入会した時、1ロータリークラブ、1ローターアクトと地区で勧められ、石川健二会長の時に委員会設立。1973年6月30日認証伝達式が留萌青年の家で行われた。以後模範的なクラブとして1時期継続した。現在の新世代活動として有意義であった。委員会設立前「ローターアクト」とは何か?と言うテーマで炉辺会合が行われ活発な発言があった。

<韓国論山ロータリークラブとの姉妹血縁>

相互会員の努力で1973年5月、石川健二会長ほか18名が論山ロータリークラブを訪問、血縁式典を終えその実現を見た。村田久一会員、宮尾幸一会員、香城芳麿会員などが姉妹血縁およびその後の継続に貢献した。

以後、相互親善訪問を繰り返し、お互いの国際理解を深めた。

留萌RC創立30周年式典の時、金東泰会長同夫人を含む36名が式典に出席された。両RC共同事業として、朝鮮動乱時の戦災孤児施設・論山愛育園へ資金援助をした。また、私たちも論山RCを訪問、そして愛育園を訪問し歓迎を受け、国際親善に役立った。当時、相互クラブ訪問を繰り返した。

(次週に続く)

例会プログラム【9~10月】

9月29日(水) 「我が生い立ち」 長谷川・辻本会員

10月13日(水) 職業奉仕委員会プログラム

10月6日(水) 「頭の体操」例会

10月17日(日) 地区大会(札幌移動例会)